

## 対象国農業分野における開発ニーズ(課題)

- ・農産業はケニアの主要産業であるが、低付加価値の産業構造により小規模農家の貧困率が高い
- ・高付加価値な農業生産物が必要である
- ・国策としても小規模農家の収益UPを推進している

## 提案製品・技術

- ・インドでのオーガニックコットンプロジェクトにおける農民管理ノウハウの活用
- ・農家の生産管理、成果物の品質管理、モチベーション管理を行う
- ・販売リソースの活用

## 案件概要

- ・ 契約期間: 2022年12月～2024年1月
- ・ 対象国・地域: ケニア国 ナイロビ郡、メルー郡、ムランガ郡
- ・ 相手国実施機関: ケニア国 農業畜産研究機構(KALRO) 国立蚕糸研究センター(NSRC)
- ・ 案件概要: 農研機構・NSRC協力の元、養蚕技術の指導を行っているケニアムランガ郡、メルー郡の農家に対し、当社がインドで培った農家の生産管理ノウハウを活用し、高品質の成果物を安定的に収穫できる体制を確立することで、ケニアの課題である「小規模農家の収入向上」、「付加価値の高い農作物の創出」の解決、ひいてはケニアでの養蚕業の再興を目指すものである。



## 開発ニーズ(課題)へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

- ・養蚕事業についてのバリューチェーンを構築し生産から販売までを一元管理
- ・養蚕農家から成果物の買取、当該成果物(加工品/単体)を当社の既存販売ルートから繊維製品、化粧・雑貨品、医療用素材として販売。
- ・ケニア国内におけるシルク関連製品市場の開拓
- ・バイプロダクトの活用により成果物の全てを商品として展開

## 対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

- ・養蚕業、シルク加工業の普及
- ・生産体制の確立による生産効率化
- ・成果物の品質向上
- ・サプライチェーンの確立
- ・小規模農家の収入向上、雇用の促進
- ・ケニアにおける新たな農産物の創出